

- 1 日時 平成30年6月27日（水）午後3時半～午後4時50分
- 2 場所 市民ホールつくばね2階 会議室
- 3 出席者 都市計画部次長兼公有地利活用推進課長
公有地利活用推進課課長補佐、係長、係員1名
- 4 参加者 22名

5 内容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 調査結果

ア 庁内ニーズ調査の結果について

イ 民間事業者を対象としたニーズ調査の結果について

ア、イについて、別紙説明会資料及び別紙1～3を用いて、説明した。

(4) 質疑・意見交換（●：参加者、○：市）

- Is値が0.6以上だと倒壊、または崩壊する危険性が低いとあるが、どれくらいの震度まで大丈夫なのか。
→○Is値が0.6以上あれば絶対大丈夫という話ではないが、資料のとおり、統計上マグニチュード7.1程度の地震などで甚大な被害が見られていないため、0.6以上が指標となっている。
- いつまでに解決するつもりなのか。
→○検討物件が10校あり、いつまでという時期を示すのは難しい。本年度中に、学校毎に話し合いを進めて、方向性を決めていきたい。早く決めたいとは考えている。
- 4月まで使っていた学校がなぜ耐震化されないまま放置されてきたのか。今後、耐震化するほか、補助等してもらえるのか。
→○教育局において、順次、計画的に進めていたのだと思う。嘆かわしいことだが、現在の状況を踏まえて、活用を考えていく必要がある。また国、県、市から補助金を出すというのは難しい。市で耐震化するほか、住民による地域活動への補助等は考えていく必要がある。
- 利活用が決まるまでの環境維持管理は誰が行うのか。草が伸びている。
→○教育局において、年2回草刈りを行うと聞いている。時期的に繁茂するタイミングが過ぎてからと思われる。

- 筑波東中学校のグラウンドについて、秀峰筑波義務教育学校のイベントや授業参観などで、駐車場として利用している。開校前の説明会でも、使えると聞いている。利活用すると使用できなくなる。また、用地売却は非常に慎重に考えてほしい。地域コミュニティの核となる場所が完全になくなることになる。
→○学校教育に必要な部分は大事にするべきと思っている。運動会などでも東中や筑波高校ほか近隣に協力いただき駐車場として利用した現状は把握している。売却については、民間事業者が施設の一部を地域向けに開放している事例もあり、地域の意見を聞きながら、検討をしていきたい。

- 放課後に子どもたちがグラウンドで遊んでいるが、樹木で周囲からグラウンドが見えない死角になる部分がある。管理について、教育施設課に相談している。
→○参考にさせていただき、教育局と協議する。

- 地域活性化のために使ってほしいと考えており、筑波東中を宿泊施設にするのはどうか。大学生向けの研修所、合宿所、農業体験を提供するなど、人を集められないか。他県の事例でも廃校利用した宿泊施設が流行っているようである。
→○民間事業者からも同様なキャンプ場や合宿所など提案もある。地域の意見を確認しながら、検討を進めていきたい。

- 市長公約にあげている廃校などを利用した高等特別支援学校、ファーマーズビレッジ、公文書館があるが、評価としては“遅れ”となっている。学校跡地がどうなるのか不安に感じており、情報は出来るだけ出してほしい。秀峰筑波のPTAとして、田水山小地区委員をやっている。学校組織を利用して、アンケートをするなどで旧小学校区毎に子ども・親の意見を聞くことができると思う。仕事をしている人は説明会に来て意見を言う機会を持ってない方もいる。
→○情報提供に努めていく。働きかけ方についても参考にする。

- 田水山小は141年の歴史があるが、筑波北部はそれぞれ学校を中心とした文化があり、学校はコミュニティの核となっている。全国でも学校がなくなると地域が廃れていく事例も聞く。秀峰筑波に統合されたが、子どもの心のふるさと、アイデンティティは、旧小学校だと思う。それがわかる形で残してほしい。周辺地区は学園地区に比べて公園が少ない。グラウンドだけでも子どもたちが自由に遊べる場所にしてほしい。高齢者なども気軽に訪れて交流できる場所にしてほしい。地域の意見を聞くと言っているが、地域コミュニティと経済

的な観点からどちらを重視しているのか聞きたい。

→○学校は地域コミュニティの核として非常に大事な場所であると認識している。一概に経済効果と天秤にかけることはできない。人口減少の観点から学校を活用した雇用促進や子どもたちが遊べて高齢者と交流する場所など、地域の意向がさまざまあると思う。地域の意見を聞きながら検討していく。

●地域スポーツ振興を考えると4月に4校の学校開放が終了し、活動の場がなくなってしまった。スポーツ活動拠点について、どう考えているのか。

→○学校開放事業としては、耐震性能の低い施設の利用をやめた。また平成31年5月までは、耐震性能に問題がない施設は利用を続けていくと教育局で整理していると思う。体育施設としての活用については、市内ニーズ調査でスポーツ振興課が検討しているところである。スポーツ振興の全体の考え方については、スポーツ振興課でスポーツ推進計画の見直しに着手すると聞いている。ご意見については、伝える。

●地域の声を聴きながら検討を進めるというスタンスはありがたい。筑波小学校は門扉が閉まっており、子どもたちが遊べない状況が見られる。利活用が決まるまで時間を要する場合は、暫定的に開放してほしい。跡地活用の成功事例をみると地域の協議を何度も重ねるなど、地域の人間が積極的に取り組まないとうまくいかない。行政まかせのスタンスでは成功しない。市からも地域を動かす働きかけをしてほしい。

→○地域の方々と一緒に考えていきたい。施設管理者の立場としては、事故等のことを考えると施設開放はなかなか難しいと思うが、施設管理部署に意見は伝える。

●投票所や避難所などの既存機能は見直す、維持するなど決めているのか。

→○市で決めていることはない。残す、移設という意見でまとまれば、そのようにしていくのが、望ましいと考えている。

●作岡小の体育館はIs値0.22だが、指定避難所として使い続けるのか。

→○避難所の被災状況に応じて、避難所として開設できるかできないかを判断する。Is値が高い施設においても同様で、被害を確認して意思決定する。まずは集まる場所としては、作岡小と認識していただきたい。その都度、避難所として利用できるのか、筑波西中に移るのかなど判断することになる。

●10校は地域の財産であり、近日中に利活用が図れるよう検討してほしい。10

校の中には、井戸を利用している場所もあるはず。井戸水利用には、週一回滅菌機の保守点検が必要である。現状は、その保守点検は行っていないのではないかと。いつでも利活用が図れるよう、水質管理にも気を配ってほしい。また、災害で避難所になる場合、非常用電源が確保されている場所はないと思う。防災倉庫にある発電機のみだと思う。細かいことだが、理想的には、いつでも使えるように明日から整備維持してほしい。

→○現状、確認できていない。施設管理者と協議したい。防災の観点からもどういう対応が可能なのか、調整したい。

(5) 閉会